

# 大震災が映す日本社会

教養講座

令和3年10月14日(木)～11月25日(木) (計7日間9時間20分)

## 〈講座概要〉

2011年3月11日の東日本大震災・原発震災の発災から11年目となりました。この間、熊本や大阪などでの地震被害、国内各地での豪雨、台風被害が続いています。実態把握、原因究明、被災者支援、再発防止はどこまで進んだのでしょうか。新しい連帯、支援活動も生まれています。事例を各回で掘り下げながら、自然災害が映し出す日本社会の現実をみつめ、社会力アップの道筋を議論していきます。

募集定員	10名
受講対象者	一般市民
実施場所	五福キャンパス共通教育棟B棟1階 生涯学習部門 第2学習室
受講料	6,300円
テキスト	なし
申込期限	～令和3年9月30日(木)まで
問合せ先	五福キャンパス

## 〈講座内容〉

回数	期日	時間	題目	講師氏名	所属・職名
1	10月14日(木)	19:00～20:20	あのととき大川小学校でなにがおこったのかー究明続く津波被災因	林 衛 藤田公仁子	人間発達科学部・准教授 地域連携推進機構・教授
2	10月21日(木)		被災者支援のNPOの活動から学ぶもの		
3	10月28日(木)		原発震災は何を奪ったのかー被災者置き去りの構造		
4	11月4日(木)		公害反対運動、被爆者原爆症認定訴訟の遺産はいかせているか		
5	11月11日(木)		ダムは洪水を激甚化しているのかー気象災害減災に向けて		
6	11月18日(木)		被災地で展開されるNPOと行政の協働した支援活動		
7	11月25日(木)		「人間を守れない」日本社会の改め方ー産官学法報への市民力		

## 〈備考〉

本講座の修了者は希望により、県民カレッジから5単位が認定されます。